

社会課題解決の歩み

東海理化は創業以来、商品を通じて交通事故抑止、盗難抑制、交通事故被害軽減に取り組んできました。

事業が自動車産業以外に拡大しても、社会課題解決に挑戦する当社の想いは変わりません。

会社の歴史

1948－1970

創業～事業の拡大

1971－1985

技術と品質の確立

1986－2000

グローバル企業への飛躍

2001－

さらなる成長へ

社会課題解決の歩み

交通事故抑止

操作系を手元に配置し
運転に専念

1963

レバー式ウィンカースイッチ
インパネにあるスイッチをステアリングコラム回りに移動した。

1967

シフトレバー
米国でのAT車の普及が進んだことに着目し、シフトレバーを開発した。

1970年代

**レバー
コンビネーションスイッチ**
ウィンカーに加え、さらにライト、ワイパーの各種スイッチをステアリングコラム回りに移動させ、操作性と安全性を高めた。

1982

集合スイッチ
ステアリング回りに運転時に頻繁に操作するスイッチを集中した。

1993

**パワーウィンドスイッチ
(挟み込み防止機能付)**
電子回路による保護装置を内蔵し、挟み込み事故に対する安全性が向上した。

2003

シフトバイワイヤシフター
HV車やEV車にマッチする電子式シフトレバーを開発した。

2014

タッチパッド
スマートフォン感覚のなぞり操作と振動フィードバックによる先進的な操作デバイスを開発した。

盗難抑制

機械的・電子的に
ドアロック解錠・
エンジン始動を制御

1963

**ステアリングロック
(機械式)**
盗難防止用の機械式ステアリングロック装置を開発した。

1966

リバーシブルキー
キー山を両面にカットして、表裏どちらからでも挿せるキーを開発した。

1983

ワイヤレスキー
宅配業者からの要請で、車両から離れたところからでもドアの施解錠ができる電波キーを開発した。

1989

内溝キー
内溝化により一般の鍵屋では複製が困難なキーを開発した。

1994

イモビライザーシステム
車両の盗難防止ニーズのさらなる高まりを受けて暗号化技術を採用し、セキュリティ製品の電子化が加速した。

1999

キーフリーシステム
盗難防止性と利便性を両立させた日本初のスマートキーシステムを開発した。

2003

**スマートエントリー&
スタートシステム**
盗難防止性と利便性をさらに進化させたスマートキーシステムを開発した。

2022

**TOKAI RIKA Digitalkey®
デジタルキー事業を本格化し
「TOKAI RIKA Digitalkey®」
ブランドを設立**
2022年度からは、社用車管理システムサービス「Bqey」、無人レンタカーシステムサービス「Uqey」を開始した。

交通事故被害軽減

法規制に対応しながら
現実の乗員保護性能を
追求

1962

シートベルト(2点式)
乗員の保護安全ニーズが高まる時代が必ず来ると予測し、シートベルトを開発した。

1968

シートベルト(3点式)
腰だけでなく肩も固定する3点式シートベルトを開発した。

1976

**テンションリデューサー付き
シートベルト**
装着中にシートベルトを緩める機能を採用した。

1994

**プリテンショナー付き
シートベルト**
万一の衝突時の衝撃を感知し、シートベルトを引き込むことにより乗員拘束性能を向上する機能を採用した。

1997

**フォースリミッター付き
シートベルト**
プリテンショナーによるシートベルトの巻き上げられ力を適度に緩和させる機能を採用した。

2003

モーターリトラクター付シートベルト
衝突する前に作動し、安全性を高めるプリクラッシュセーフティシステムに対応したシートベルトを開発した。